

Dell UP2718Q Dell Display Manager ユーザーガイド

モデル番号: UP2718Q
規制モデル: UP2718Qt





注意：注意は、コンピューターのより良い使用を助けるための重要な情報を示します。

Copyright © 2017 Dell Inc. All rights reserved. 本製品は米国および国際的な著作権法および知的財産法で保護されています。

Dell™およびDellのロゴは、米国および/またはその他の地域におけるDell Inc.の商標です。ここに記載されているその他のマークおよび名称は、各社の商標である場合があります。

Contents

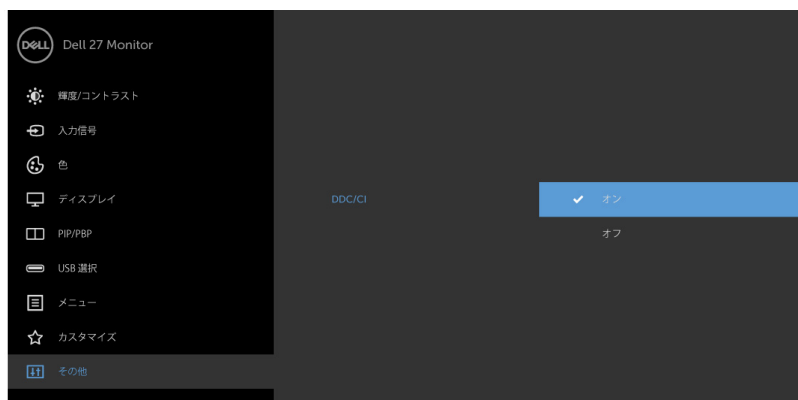
概要	4
クイック設定のダイアログを使う	5
基本的なディスプレイ機能の設定	6
プリセットモードをアプリケーションに割り当てる	7
省エネ機能を適用する	8
Easy Arrange で Windows を整理する	9
複数のビデオ入力を管理	11
トラブルシューティング	17

概要

Dell Display Managerは、モニターまたはモニターグループの管理に使用されるWindowsアプリケーションです。表示されるイメージの手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、ウィンドウ整理、イメージ回転、およびDellの上位モデルのその他の機能が可能です。インストールすると、Dell display manager はコンピューターが起動するたびに実行され、そのアイコンが通知トレイに配置されます。通知トレイのアイコンにマウスのポインターを重ねると、コンピューターに接続されているモニターに関する情報が表示されます。

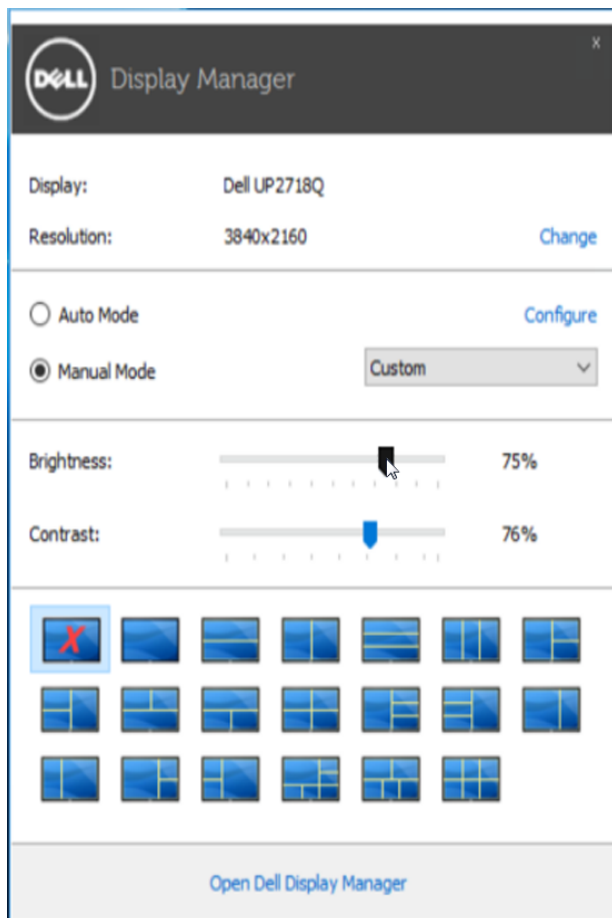


注: Dell Display Manager は、ご利用のモニターと通信するために DDC/CI チャンネルの使用を必要とします。以下のように、メニューで DDC/CI が有効になっていることを確認してください。



クイック設定のダイアログを使う

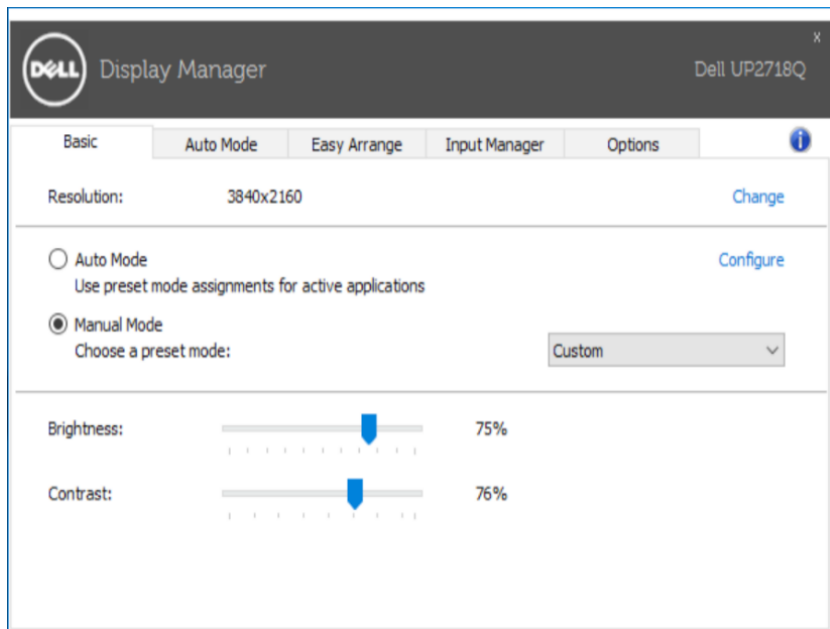
Dell Display Manager の通知トレイ アイコンをクリックすると、クイック設定のダイアログが開きます。システムに複数のサポートされる Dell モデルが接続されている場合は、用意されたメニューを使用するとターゲットのモニタが選択されます。クイック設定のダイアログボックスでは、モニタの輝度やコントラストの調整を行ったり、プリセットモードを手作業でプリセットモードを選択したり、アクティブになっているアプリケーションに合わせてプリセットモードを自動選択することが可能です。



クイック設定のダイアログボックスからは、Dell Display Manager の高度なユーザーインターフェイスにもアクセスできます。ここからは、基本的な機能を調整したり、自動モードを設定したり、その他の機能にアクセスしたりすることが可能です。

基本的なディスプレイ機能の設定


一部のモニタのプリセットモードは、[基本] タブのメニューを使って手動で適用できます。または、自動モードを有効にする方法もあります。自動モードを選択すると、特定のアプリケーションをアクティベートすると、自動的にあらかじめ選択しておいたプリセットモードが適用されます。選択されたプリセットモードを示すメッセージが一時的に画面に表示されます。一部のモニタの輝度とコントラストも [基本] タブから直接調整できます。



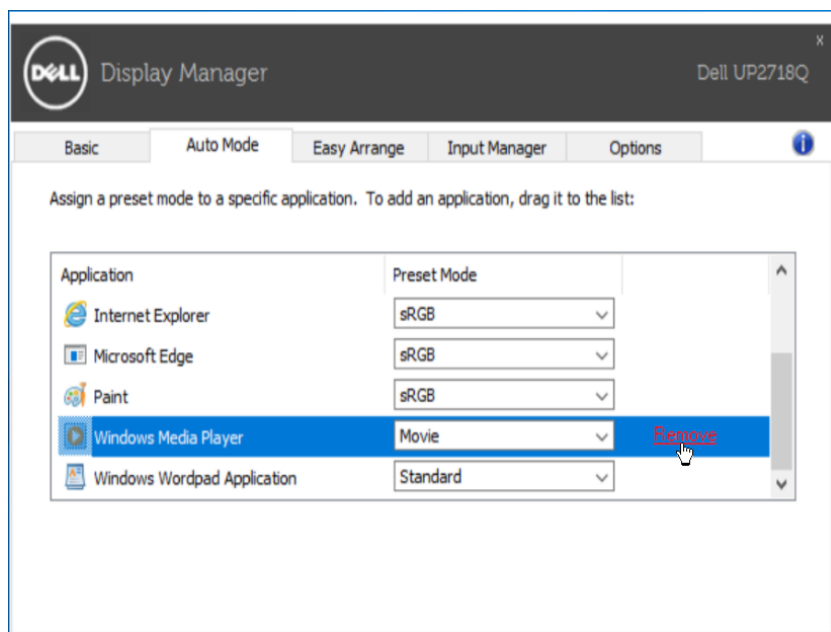
プリセットモードをアプリケーションに割り当てる

[自動モード] タブからは、特定のプリセットモードを特定のアプリケーションに関連付けて、自動的に適用するように設定できます。自動モードを有効にすると、相当するアプリケーションがアクティベートされると、Dell Display Manager が自動的に相当するプリセットモードに切り替えます。各モニターで同じプリセットモードが特定のアプリケーションに割り当てられているかもしれませんが、プリセットモードが 1 台ずつ違うかもしれません。

Dell Display Manager は、多くの一般的なアプリケーション向けにあらかじめ構成されています。割り当てリストに新しくアプリケーションを追加するには、デスクトップ、Windows のスタートメニュー、その他の場所からアプリケーションをドラッグして、現在のリストにドロップします。

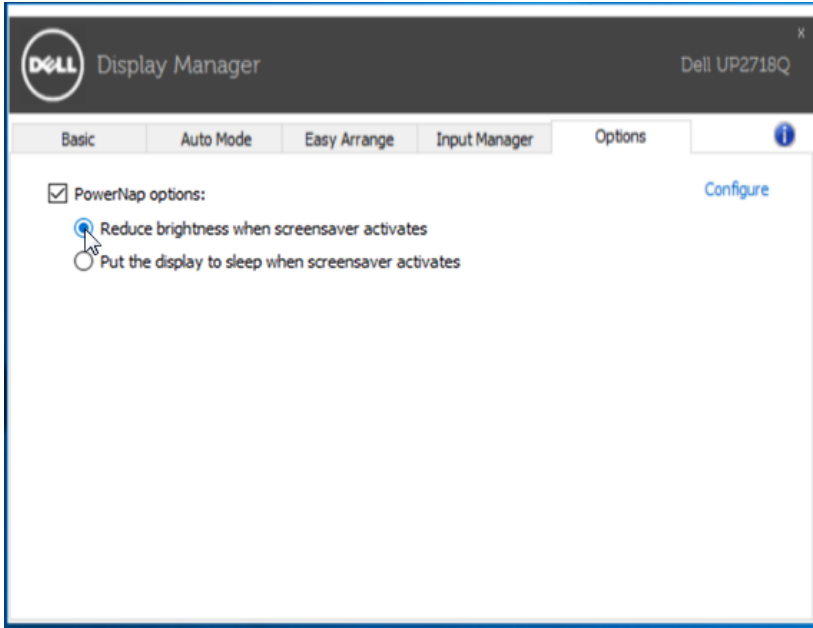
 注記: 一連のファイル、スクリプト、ローダー、あるいは Zip アーカイブやパケット化されたファイルなどの非実行ファイルへのプリセットモードの割り当ては、サポートされていないため、実行できません。

また、Direct3Dアプリケーションが全画面モードで実行されているときに、ゲーム用のプリセットモードを有効にするオプションが可能です。このような動作(有効に設定されているとき)を個々のゲームタイトルに置き換えるには、異なるプリセットモードでそれら割り当てリストに追加してください割り当てリスト内にあるアプリケーションは、一般的な Direct3D 設定よりも優先します。



省エネ機能を適用する

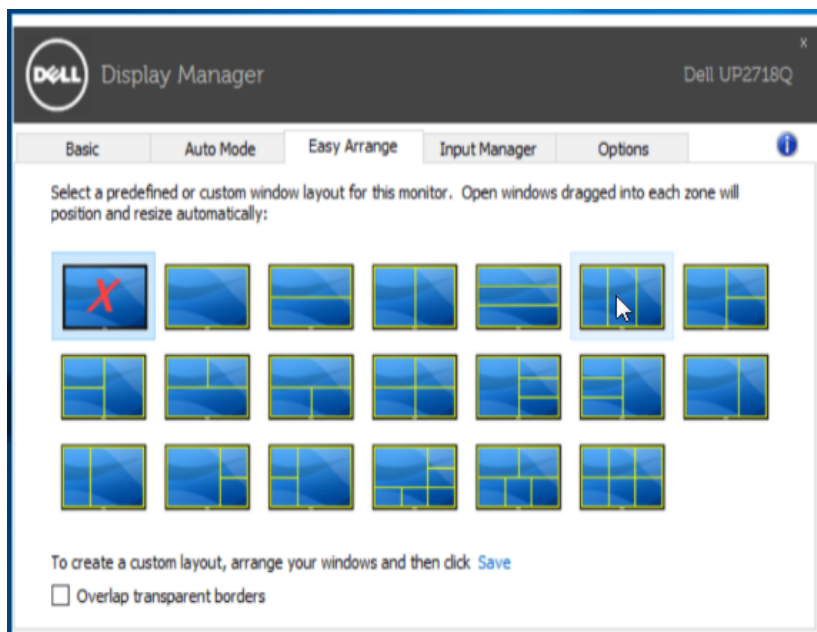
サポートされるDellモデルにはオプションタブがあり、そこにPowerNap省エネルギーオプションがあります。スクリーンセーバーを有効にすると、モニタの明るさを自動的に最小レベルに設定できます。または、付加的な電力を節約するために、モニタをスリープ状態にすることができます。




Easy ArrangeでWindowsを整理する

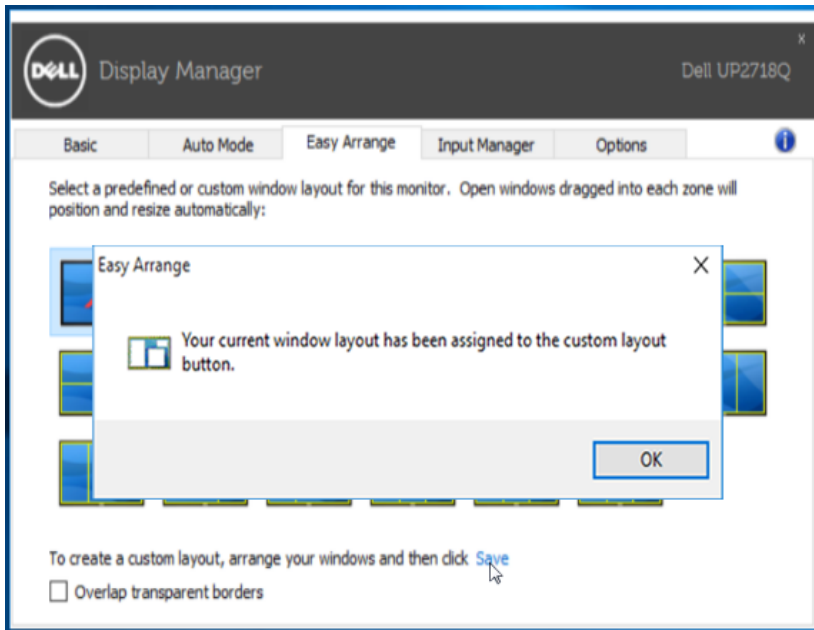
一部のDellモデルはEasy Arrange機能を備えています。これがあると、選択したモニタのデスクトップを整理して、ウィンドウレイアウトをいろいろな方法で事前定義したり、カスタム化したりできます。Easy Arrange機能を有効にすると、ウィンドウレイアウト内の特定の領域を自動的に埋めるように、ウィンドウの位置やサイズを簡単に変更できます。

Easy Arrangeを始めるには、ターゲットモニタを選択し、事前定義されたレイアウトの1つを選択します。そのレイアウトの領域がモニタに一時的に表示されます。次に、開いているウィンドウをモニタの全域でドラッグします。ウィンドウがドラッグされている間、現在のウィンドウレイアウトが表示され、ウィンドウが上を通過するとアクティブな領域が強調表示されます。いつでもウィンドウをアクティブ領域に落とし、その領域にウィンドウを配置できます。

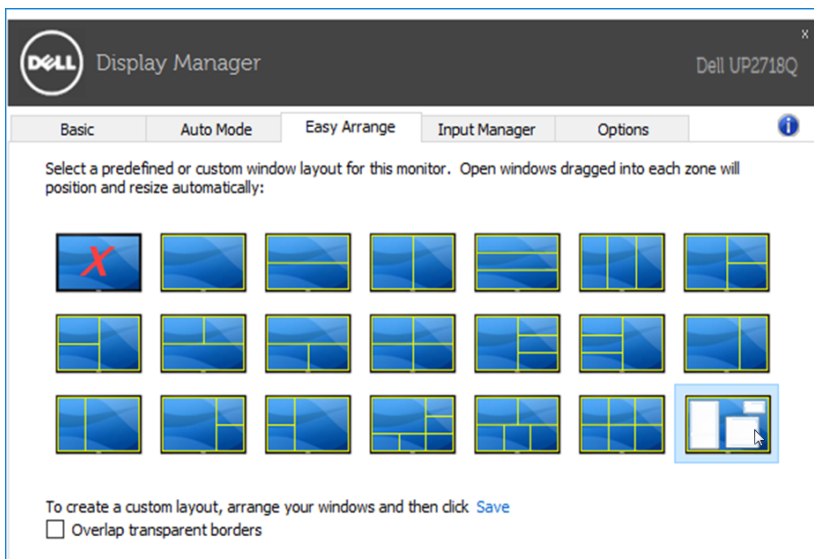


カスタムのウィンドウレイアウトを作成するには、デスクトップでウィンドウのサイズと位置を決め(最大10個)、Easy Arrangeの保存リンクをクリックします。ウィンドウのサイズと位置がカスタムレイアウトとして保存され、カスタムレイアウトアイコンが作成されます。

 注記: このオプションでは、開いているアプリケーションが保存または記憶されることがありません。ウィンドウのサイズと位置だけが保存されます。



現在保存されているカスタムレイアウトを使用するには、カスタムレイアウトアイコンを選択します。現在保存されているカスタムレイアウトを削除するには、デスクトップ上のすべてのウィンドウを閉じて、Easy Arrangeの保存リンクをクリックします。

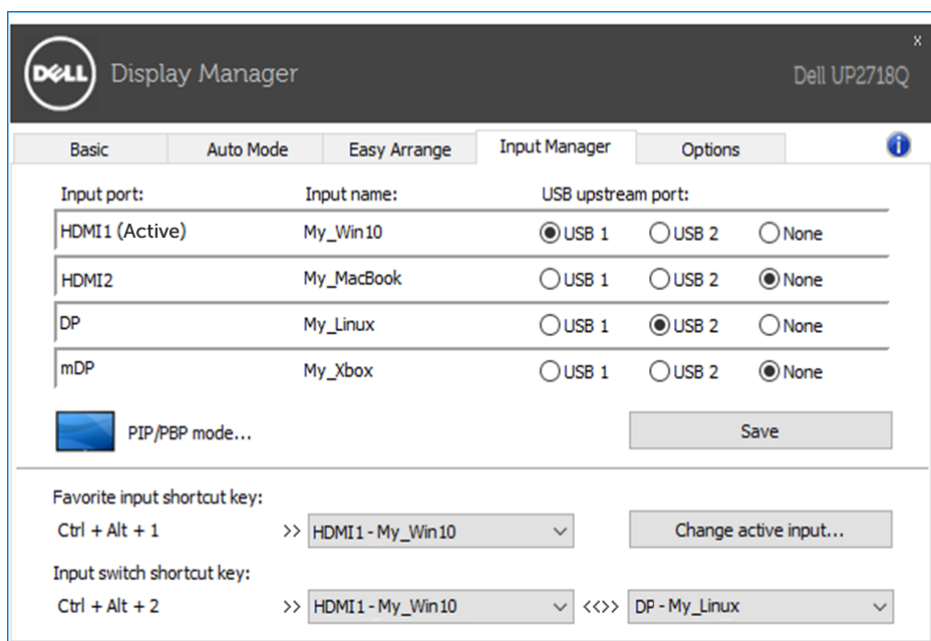


複数のビデオ入力を管理

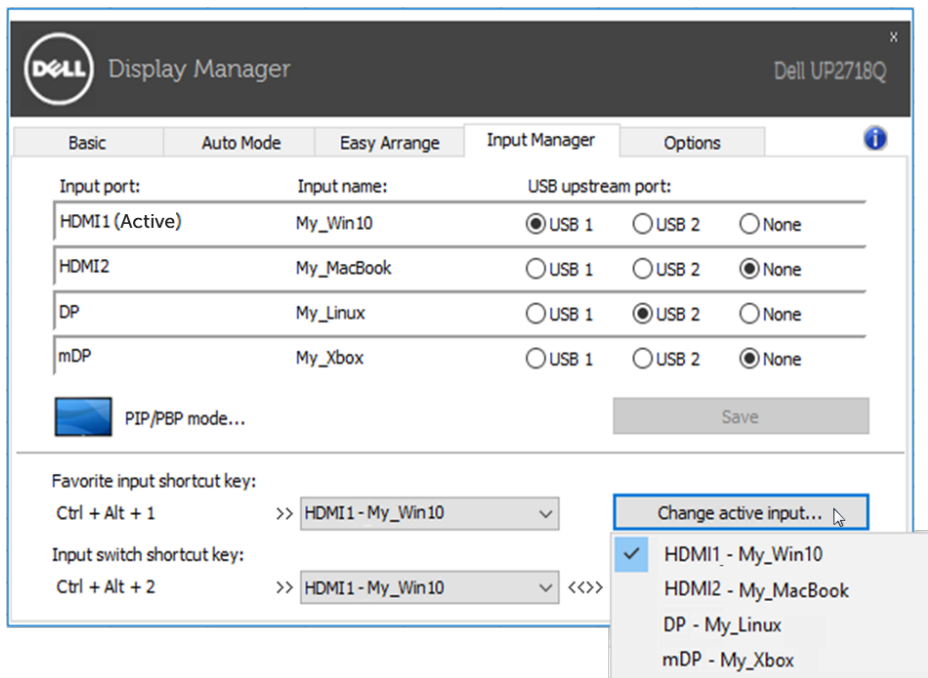
Input Manager (インプットマネージャー) タブから、お使いのデルモニタに接続された複数のビデオ入力を簡単に管理できます。複数のコンピュータで作業をしながら、とても簡単にビデオ入力を切り替えることができます。


お使いのモニターでご利用いただけるビデオ入力ポートがすべてリスト化されます。それぞれのビデオ入力に好きな名前を付けることができます。設定後は変更を保存してください。

ショートカットキーを登録してお気に入りのビデオ入力に素早く切り替えたり、頻繁に切り替えるものがあれば別のショートカットキーを登録して、ビデオ入力を素早く切り替えられるようにすることができます。



ドロップダウンリストを使って、別の入力ソースに切り替えることができます。



 注記: モニタが別のコンピュータ経由のビデオを表示している間、モニタはDDM通信を継続します。頻繁に使うPCにDDMをインストールして、PCから入力を切り替えることができます。モニタに接続されている別のPCに、DDMをインストールすることもできます。

PIP/PBP mode (PIP/PBPモード) 選択ボタンをクリックして、PIP/PBP設定を選びます。



DELL Display Manager Dell UP2718Q

Basic Auto Mode Easy Arrange **Input Manager** Options

Input port:	Input name:	USB upstream port:		
HDMI1 (Active)	My_Win10	<input checked="" type="radio"/> USB 1	<input type="radio"/> USB 2	<input type="radio"/> None
HDMI2	My_MacBook	<input type="radio"/> USB 1	<input type="radio"/> USB 2	<input checked="" type="radio"/> None
DP	My_Linux	<input type="radio"/> USB 1	<input checked="" type="radio"/> USB 2	<input type="radio"/> None
mDP	My_Xbox	<input type="radio"/> USB 1	<input type="radio"/> USB 2	<input checked="" type="radio"/> None

Save

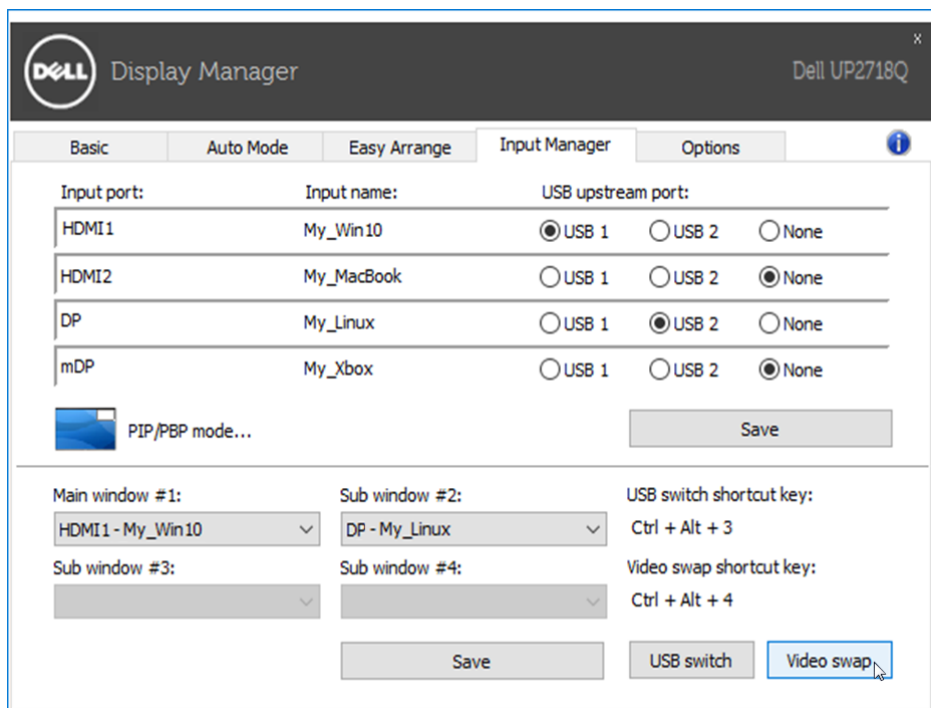
Favorite input shortcut key:
Ctrl + Alt + 1 >> HDMI1 - My_Win10 >> Change active input...

Input switch shortcut key:
Ctrl + Alt + 2 >> HDMI1 - My_Win10 <<<> DP - My_Linux

メイン画面とサブ画面のビデオ入力を選択できます。選択後は変更を保存してください。

ショートカットキーを登録すれば、メイン画面とサブ画面のビデオ入力を素早く切り替えることができます。

Video swap (ビデオスワップ) ボタンをクリックするか、登録した Video swap shortcut key (ビデオスワップショートカットキー) を使って、メイン画面とサブ画面のビデオ入力を切り替えます。



ビデオ入力でUSBアップストリームポートを割り当てることができます。モニタにビデオが表示されている間は、割り当てられたUSBアップストリームポートにコンピュータが接続されます。

2つのコンピュータで使うモニタに接続したマウスやキーボードを共有する場合に特に便利です。ショートカットキーを登録すれば、2つのコンピュータで使うデバイスに素早く切り替えることができます。


Input port:	Input name:	USB upstream port:		
HDMI1	My_Win10	<input checked="" type="radio"/> USB 1	<input type="radio"/> USB 2	<input type="radio"/> None
HDMI2	My_MacBook	<input type="radio"/> USB 1	<input type="radio"/> USB 2	<input checked="" type="radio"/> None
DP	My_Linux	<input type="radio"/> USB 1	<input checked="" type="radio"/> USB 2	<input type="radio"/> None
mDP	My_Xbox	<input type="radio"/> USB 1	<input type="radio"/> USB 2	<input checked="" type="radio"/> None

PIP/PBP mode... Save

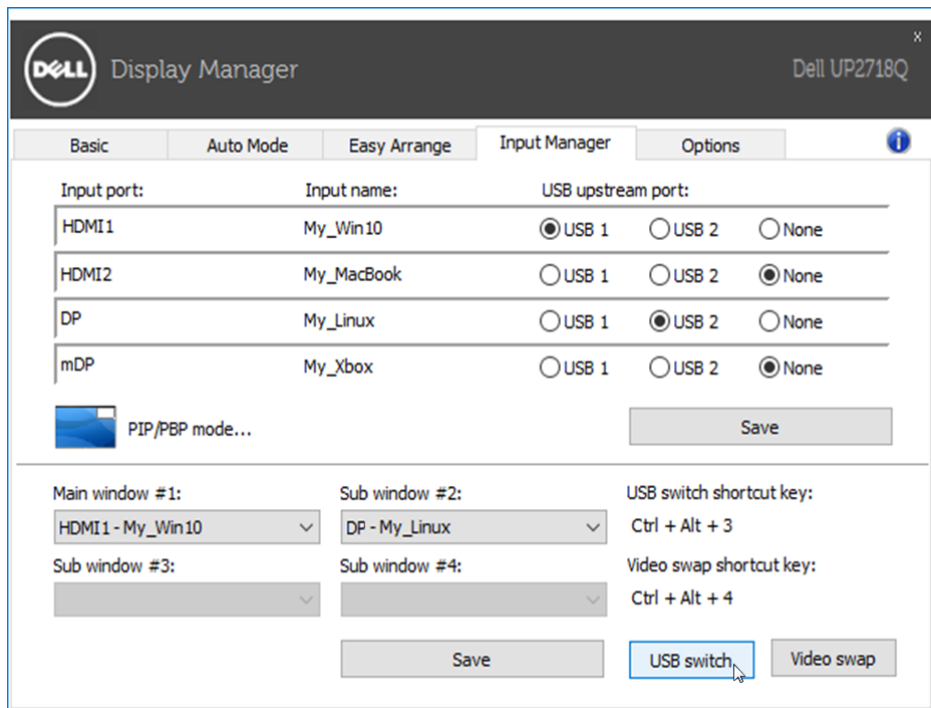
Main window #1: Sub window #2: USB switch shortcut key:

Sub window #3: Sub window #4: Video swap shortcut key:

Save USB switch Video swap

 注記: 2台のコンピュータそれぞれに、必ずUSBアップストリームポートを割り当ててください。

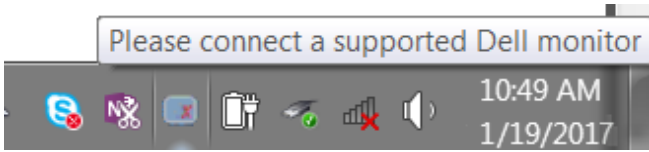
PIP/PBPがオンになっている時にデバイス(例:マウス)を2台のコンピュータで共有する場合は、USB switch (USB 切替) ボタンをクリックするか、登録した USB switch shortcut key (USB切替ショートカットキー) を使って2つのコンピュータで使用するデバイスに素早く切り替えることができます。



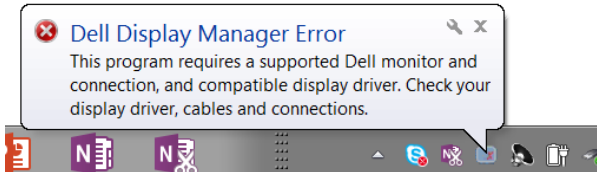
- 注記: 2台のコンピュータそれぞれに、必ずUSBアップストリームポートを割り当ててください。
- 注記: 別のコンピュータに切り替える前に、USBデバイスが適切に停止されているか必ず確認してください。そうしなかった場合、サムドライブのデータ破損などの問題が生じる場合があります。

トラブルシューティング

DDM が、ご利用のモニターと共に動作することができない場合、DDM は、通知トレイに以下のアイコンを表示します。



アイコンをクリックすると、DDM は、詳細なエラーメッセージを表示します。



DDM は、Dell ブランドのモニターと共にのみ動作することに注意してください。他のメーカーのモニターを使用されている場合、DDM は、それらをサポートしません。

DDM が、サポートされる Dell 製モニターを検出および/または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うため、以下のアクションを行ってください：

1. ビデオケーブルが、ご利用のモニターと PC に適切に接続されていることを確認します。特にコネクターが、しっかりと所定の位置に挿入されていることを確認してください。
2. モニターの OSD をチェックし、DDC/CI が有効になっていることを確認します。
3. 必ず、グラフィックスベンダー (Intel、AMD、Nvidia など) から、正しい最新のディスプレイドライバーを取得してください。多くの場合、ディスプレイドライバーが、DDM 故障の原因となります。
4. モニターとグラフィックスポートの間のドッキングステーション、ケーブルエクステンダーまたはコンバーターを取り外します。一部の低価格のエクステンダー、ハブまたはコンバーターは、DDC/CI を適切にサポートしておらず、DDM の障害を引き起こす可能性があります。最新バージョンが利用可能である場合、このようなデバイスのドライバーを更新してください。
5. ご利用のシステムを再起動します。

DDM は、以下のモニターでは動作しない可能性があります：

- 2013 年以前の Dell 製モニターおよび D シリーズの Dell 製モニター。更なる情報については、Dell 製品サポートウェブサイトを参照してください
- Nvidia ベースの G-sync 技術を使用するゲーム用モニター
- 仮想ディスプレイおよびワイヤレスディスプレイは、DDC/CI をサポートしま

- せん
- DP 1.2 モニターの一部の初期モデルは、モニターの OSD を使って、MST/DP 1.2 を無効化することは必要となる場合があります

ご利用の PC がインターネットに接続されている場合、DDM アプリケーションの最新バージョンが利用可能になった場合、その旨を示すメッセージがプロンプト表示されます。最新の DDM アプリケーションをダウンロードし、インストールすることを推奨します。

また、「SHIFT」キーを押しながら、DDM アイコンを右クリックすることにより、新しいバージョンを確認することができます。

